

**九州唯一！**

**主体的、対話的で深い学びの場  
～アクティブ・ラーニング実践研究～**

中津市では、児童・生徒が主体的に問題を発見したり、対話したりしながら、これからの社会に必要な力をつけていく深い学びの場がある授業が、多くの学校、多くの教室で行われることを目指し、平成 28 年度から文部科学省による「アクティブ・ラーニング実践研究（略称）」に取り組んでいます。

この「アクティブ・ラーニング実践研究」に取り組んでいるのは、九州では中津市のみであり全国 11 地域（北海道、京都市等）となっています。

**1. 「アクティブ・ラーニング実践研究」の概要**

- 次期学習指導要領の改訂の方向性を踏まえ（平成 32 年度から完全実施）、育成すべき資質・能力を教育課程全体の中で育むために実践的な調査研究を行い、効果的な学習・指導方法の開発、優れた授業実践や校内研修に取り組むとともに、その成果の普及を図ります。
- 中津市教育委員会では、平成 28 年度から 2 年間、拠点校を中心として、大分大学、大分合同新聞 N I E 研究会、学校図書館司書等とも連携しながら、実践研究を進めています。

**2. 研究内容**

○拠点校 山口小学校、東中津中学校

○実践研究内容

- ①育成すべき資質・能力の設定（教育課程全体で、特定の教科等で）
- ②育成すべき資質・能力を育むために必要な学習・指導方法の開発
- ③評価規準の設定や評価方法の工夫改善
- ④学校全体としての組織的な取り組み

○特に重視する視点

- i 習得・活用・探究という学習プロセスの中で、問題発見・解決を念頭に置いた深い学びが実現できているか。
- ii 他社との協働や外界との相互作用を通じて、自らの考えを広げ深める、対話的な学びが実現できているか。
- iii 子どもたちが見通しを持って粘り強く取り組み、自らの学習活動を振り返って次につなげる、主体的な学びが実現できているかどうか。

### 3. 研究成果の普及

研究成果を市内の全小・中学校に普及を図るため、以下のような取組みを行います。

○拠点校における公開授業研究会、中津市教育委員会による授業研究会等を実施し、教員の指導力向上や研究情報の共有化を図ります。また、学校や保護者、地域に実践成果の周知を図ります。

○研究成果物や資料等を全学校に配付し、活用を推進します。

#### ■問合せ先

中津市教育委員会学校教育課（担当：川口）

TEL：0979-22-4941

教科等の本質的な学びを踏まえたアクティブ・ラーニングの視点からの  
学習・指導方法の改善に関する実践研究

◎ 研究課題

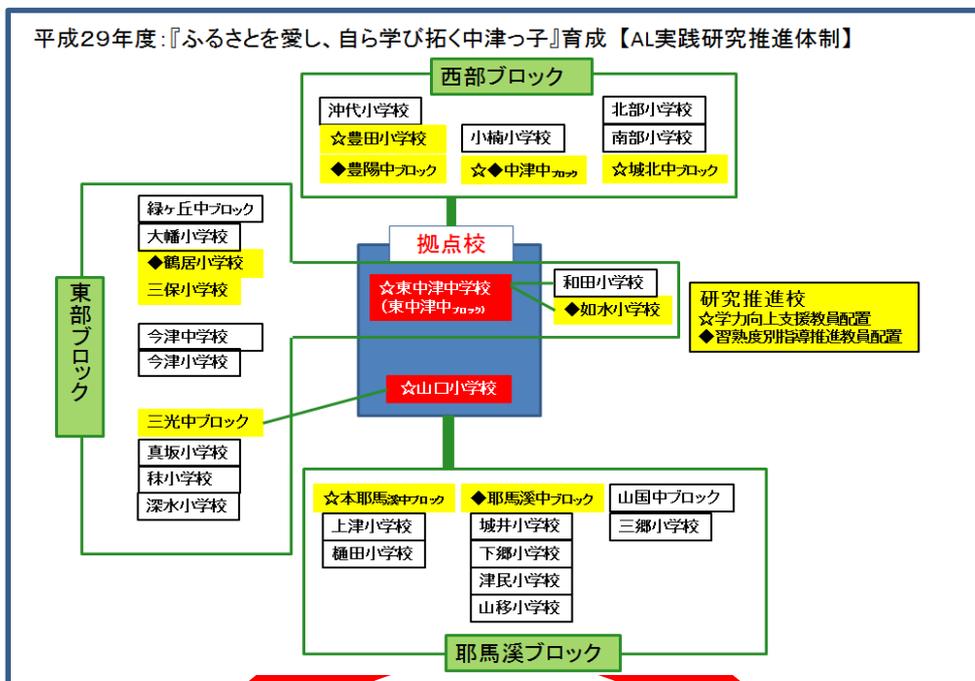
『学びに向かう力の育成～主体的・対話的で深い学びのある授業の創造』  
～言語能力の育成との関連を通して～

◎ 目指す学習者像

ふるさとを愛し、自ら学び拓く中津っ子

- ア、思考力・判断力・表現力（活用する力）の向上（全国平均を上回る。）
- イ、自尊感情が高まる。（全国平均を上回る。）
- ウ、学ぶ意欲の向上（伸び率3割）

◎ 研究推進体制 ～拠点校から全市小・中学校へ～



**AL 実践協議会** ・年3回開催  
○外部（市立小中教職員以外）委員 ○校内委員（管理職・教務主任・研究主任等）  
○市教委教育長及び指導主事等

**「主体的・対話的で深い学び」  
推進協議会**  
○学力向上支援教員  
○習熟度別指導推進教員  
○指導教諭  
○市教委指導主事

**市学校司書研究協議会**  
・毎月最終木曜開催  
○教育課程研究グループ  
○ONIE 研究グループ  
○教師との連携研究グループ  
○市教委指導主事